



議会だより



かみかわ

第 50 号

平成 29 年 4 月 14 日



ドキドキわくわくの入学式

2017年度予算決まる	2 ~ 4
議案審議のようす(討論・採決)	5 ~ 8
委員会の動き	9 ~ 13
いっぱん質問に3人が登壇	14 ~ 17

2017年度予算決まる 総額171億7,373万円

一般会計91億8,600万円

特別会計(9会計)34億5,816万円 企業会計(3会計)45億2,957万円

第77回定例会は、3月1日から24日までの24日間の会期で開催されました。

各委員会報告、諸報告に続き、町から条例制定と一部改正14件、規約の一部変更1件、契約の変更2件、補正予算8件、当初予算13件、計画・構想等の承認3件の計41件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。一般質問は3人の議員が行いました。

なお、今期定例会には区長会をはじめ、多くの皆さんの傍聴がありました。

町の歳出（一般会計の1年間の支出）

費目	予算額	人件費を除く主な支出
衛生費	18億1,092万円	病院事業会計繰出金5億9,576万円、下水道事業会計繰出金4億円、クリーンセンター運営負担金3億6,310万円、中播衛施設運営負担金7,059万円、水道事業会計繰出金6,715万円
総務費	16億9,647万円	高速ブロードバンド基盤整備事業4億7,000万円、総合行政用コンピュータ運営事業1億4,497万円、CATV管理運営事業1億9,266万円、コミュニティバス運営事業8,583万円、地方創生交付金事業4,062万円
民生費	14億1万円	障害者自立支援給付等事業2億5,609万円、介護保険事業特別会計繰出金2億3,801万円、後期高齢者医療制度事業1億9,793万円、保育所運営委託料1億9,213万円、児童手当1億5,306万円
公債費	10億4,534万円	長期債元金償還額9億5,146万円、長期債利子償還額9,252万円
教育費	8億2,330万円	学校給食管理運営事業8,606万円、町民温水プール管理運営事業5,841万円、地域交流センター管理運営事業3,065万円
土木費	7億5,132万円	橋梁長寿命化修繕事業1億9,960万円、道整備交付金事業1億4,620万円、公営住宅建設整備事業8,022万円
農林水産業費	6億4,334万円	道の駅「銀の馬車道かみかわ」整備事業1億3,853万円、地籍調査事業1億769万円、多面的機能支払交付金4,846万円、県民緑税活用事業2,743万円、森林管理100%推進事業2,252万円
商工費	5億9,854万円	峰山高原スキー場整備事業2億1,215万円、大河内高原整備事業1億5,994万円、観光施設等管理事業1億630万円
消防費	2億9,003万円	消防事務委託事業1億4,956万円、消防施設整備事業5,806万円、消防団退職報償金支給事業4,176万円
議会費	1億2,173万円	議場システム更新委託料2,700万円
予備費	500万円	

2017年度の主な施策

峰山高原スキー場、12月オープン 名称は『峰山高原リゾート』!

今年度は、センターハウス(900㎡)と第1リフト(3人乗り)を整備、11月末完成に向け工事を急ぐ
総事業費は約10億7千万円となる見込み

病院北館改築工事に着手

平成31年9月全面オープンをめざして29年度から着手、新しい北館は4階建て(一部5階)で、本体工事費は28億円
現在、南館3階にある地域包括ケア病棟を中館3階に移転して自立に向けての介助や指導を行う病棟に改修

全町 光ファイバー化!

平成29年度から2年かけて、神崎エリアも同軸ケーブルから光ファイバーに
神河町も4K・8K対応の高速ブロードバンド時代に
(総事業費は約7億2千万円)

生ごみ減量に助成

生ごみ減量対策に、家庭用生ごみ処理機を購入された方に補助金を(事業費は約3百万円)
電気式の場合、購入費の1/2を(上限35千円)
釣鐘式の場合、購入費の1/2を(上限3千円)

『道の駅』に生まれ変わる

国土交通省の支援を受けて、大黒茶屋が道の駅「銀の馬車道・神河」として整備

- 休憩コーナーは、神河「田舎暮らし」が体験できる四季折々のイベントや特産品などの情報を提供
- 「銀の馬車道」沿線や町内の自然を活かした観光名所の案内
- アンテナショップを設け、地元住民が主体となって地元特産品などを販売

11月末完成をめざし整備(総事業費は約1億4千万円)

全小中学校に 人型ロボット『ペッパー』が登場

ソフトバンクの「社会貢献プログラム」事業の認定を受け、27台が無償提供
各学校で3年間、人型ロボットを使ったプログラミング教育を支援

窓口サービスが便利に!

コンビニで住民票などの受取や町税、上下水道使用料などの振込が可能に
平成30年度からの導入をめざす(事業費は約4千万円)

4本の矢で地域創生

- 新規創業や循環型農業への取り組み、新しいブランドの発掘などへの支援
- 地域の魅力を高めて、交流から定住へつなげられる支援
- 安心して子育てできる環境づくりへの支援
- 住んでよかった、生まれてよかったと感じられる町づくり
(総事業費は約1億4千万円)

平成29年度予算審査

主なQ&A

歳入

Q 個人町民税が増え、法人町民税は減っているが。

A 個人町民税増は各企業の給与増額の効果が出ていると考えている。法人町民税は投資額が増えていることによる減額を見込んでいる。

歳出

Q 嘱託・臨時職員が非常に多い。正職員と同じ仕事をしている方もおられる。雇用形態の見直しの考えは。

A 嘱託職員は1年、臨時職員は半年での更新を基本としている。雇用形態の見直しは難しい。

Q シングルマザー移住支援で保育と仕事の両立をどう考えているのか。

A 意見交換会でもその課題がでている。今後、庁内で調整し具体的なものを作り上げていきたい。

Q 長谷駅の利用促進に通勤通学支援をしているが、全便停車の目安となる利用人数はあるのか。

A 具体的には示されていないが50人程度ではないかと思っている。

Q コミュニティバスの利用促進が見えてこない。

A 現在、積極的な取組ができていない。課

内で再度検討し、利用客を増やす方向を見出していく。

Q 家庭用生ごみ処理機の購入補助金として100台分があがっているが。

A それ以上の需要があれば、補正で対応し住民のご希望に沿いたい。

Q 今後は融雪剤の使用量も増えていく。水質検査箇所を増やす考えはあるのか。

A 検討していく。

Q こっつん亭の加工実習室を改修し売場を拡張するが、農林水産省からの補助金で建設している。補助金返還の問題

は生じないのか。
A 農産物、特産品を販売すること。加工実習室は全部つぶさないことから補助金返還はしなくともよい。

Q 犬見・小田原・越知の3河川があり、昔は賑わっていた。行政も水産業振興に力を入れるべき。

A ただ補助金を出すのではなく長期的なビジョンづくりをする必要があるのではと考えている。

Q 寺前駅裏のスキー場臨時駐車場は、砥峰高原のイベントなど通年利用できるようにすべきでは。

A 非常に貴重な意見である。今後検討していく。

Q 柏尾住宅の建て替えに合わせて公園も建設するのか。

A 現在のところ公園は考えていない。

Q 全小学生を対象に峰山高原スキー場での実習を行われるとのことだが、中学生も対象にすべき。

A スキー場のPRにとっても有意義な話だ。今後検討していく。

Q カーボンマネジメント(CO₂排出抑制)事業の概要は。リラクシアは数年前に室外機を替えているのでは。

A 温室効果ガスの排出量の大きい施設について申請し採択された。室外機を替えた客室は対象外で、ロビー等の集中方式分を改修する。

Q 越知谷名水街道の予算が見えてこない。

A ソフト事業はマラニックなどを予算化している。ハード事業は作畑新田線の道路改良、新田ふるさと村の施設等を予算化し、活性化に取り組んでいる。

検査は適正に、
支援策はより広く

最初に、スキー場整備の最終的な検査をマックアースから紹介のあった関連業者に発注することを前提に予算化されている点にある。

町の最終的な完了検査は、この事業に全く関係のない業者・機関で適正に検査を実施すべきだ。

次に、若者世帯への支援策が、町内製材所から木材を購入した若者世帯となつているが、恩恵を受ける業者が特定されてしまうような支援制度は導入すべきではない。

つまり、より多くの町民・森林所有者等にその恩恵が享受される施策を選択して展開すべきだ。

地域の魅力を
活かした町づくりを

地域創生実行2年目を迎えての予算編成。自然や地域の魅力を活かした神河町独自の町づくりが見えてこない。12月オープン of スキー場においても、町内の観光施設等の経済効果は期待できるのか。

また、観光予算においても、3つのエリアの内「大河内高原エリア」と「銀の馬車道エリア」は、それぞれ予算計上されているが、「越知川名水街道エリア」には何の予算もない。全体のバランス、公平・公正の面においても問題がある。ハード事業、ソフト事業に関わらず、いくら使う、いくら節約するではなく、予算計上はすべきである。なぜか大河内高原エリアの予算が大きく見えてならない。

一般会計補正予算7号

予算総額を2億720万2千円減額し、95億323万6千円とするものです。

増減の大きなものは、峰山高原スキー場のセンターハウスの整備費が約3億円の増、橋梁の補修工事費等が約2億円の減です。

また、28年度中に完了しない事業は、29年度に繰り越します。

主なものは、スキー場整備事業関係の約8億640万円、防災行政無線システム整備事業の6165万円です。
借入金総額は、1億2840万円減額し、約18億54万円となります。

反対討論 藤原 資広

事業費増の
主たる理由は？

スキー場整備事業費が、当初8億4千万円から1

0億7千万円に増えた主な理由が、本当に県の指導によるものだったのか。また、センターハウスの坪当たり単価が約100万円と、あまりにも高すぎると疑問を抱くからです。

県の指導は、スキー場建設は開発行為に当たるので調整池機能を持たせること、建物の外観が周辺の景観を壊さないような資材に変更すること。

また地質調査の結果、建物下の地盤が軟弱であることが判明したからとのことだった。

しかし、建物の工事費は、当初は約2億4千万円、変更後が約3億円である。当初と変更後の事業費から県の指導による増額分それぞれ約34千万円程度差し引けば、建物以外で約1億34千万円増加したことになり、主たる理由が建物以外の工事になるのでは。

契約締結事項の変更

デジタル防災行政無線システム(同報系)整備
工事請負契約締結事項の変更

防災行政無線の工事費を出来形に応じて変更するもので、1202万4720円減じ、5億291万9280円とする。

峰山高原スキー場造成
工事請負契約締結事項
の変更

暗渠排水路の延長・盛土の増、伐採木をチップ材にする経費の増などにより、763万2360円増額し、6302万9880円とする。

条例の制定・一部改正

行政手続き等における
情報通信の技術の利用
に関する条例の制定

情報通信技術を利用して、コンビニ等からでも町に申請、届出ができるように条例を定めるものです。

商工業振興基本条例の制定

町内の小規模企業者・中小企業は、地域社会の発展、住民生活の向上に重要な役割を果たしています。

これら企業者の振興を図るための基本方針・施策を定めるものです。

議会議員の議員報酬、費用弁償及び旅費に関する条例の一部改正

議員の報酬月額を特別職等報酬審議会の答申を受けて、29年4月1日から改定するものです。

役職	改正前の額	改正後の額
議長	315,000円	335,000円
副議長	235,000円	245,000円
常任委員長 議会運営委員長	225,000円	230,000円
議員	220,000円	225,000円

※特別職と同様に期末手当が0.1ヶ月引き上げになります。

議員発議

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

議員活動に専念し、幅広い政治参加や議員を志す新たな人材確保のため、地方議会議員の厚生年金制度の加入のための法整備を求めるものです。

意見書

地方創生が我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、格段に重くなっている。

こうした要請に応えるため、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、一昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、選挙権年齢の引き下げに伴い、若者に対して政治への関心を高めるための啓発活動の充実強化を図るとともに、地方議会議員の社会保障、とりわけ年金制度を充実させることが、議員を志す新たな人材の確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、国民世論にも十分配慮しつつ、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年3月24日

兵庫県神河町議会

賛成討論 三谷 克巳

若い人材確保は必要

去年「地方議員への年金・医療保険の適用に関する新制度案」が取りまとめられた。

この案は、現状の厚生年金、医療保険（健康保険）制度に、議員も厚生年金は70歳まで、医療保険は75歳まで加入できるものである。ただし、勤務先で厚生年金等に加入している場合は除く。

この制度に加入すると、試算では議員1人あたり年間、厚生年金が約35万円、医療保険が約20万円必要で、財政負担になるのは承知している。しかし、幅広い年齢階層の議員がいることが望ましいので、若い人材の確保を促していくためにも新制度は必要である。

賛成討論 小寺 俊輔

人材確保の下地づくり

神河町でも志を持って地元、神河町のために頑張りたいと思っている若者はたくさんいる。

若者たちと議員について語り合う場で良く聞かれるのが「議員で生活できるのか?」「仕事はどうしてるのか?」といった生活に関することです。議員報酬の額、国民健康保険や国民年金であること、議会・委員会活動等で年間100日からの出席が必要であることを説明すると、ほぼ議員になることを諦めてしまわれます。

社会保障、厚生年金に加入すれば町費の持ち出しが増えることによる批判もあるでしょう。しかし、神河町の未来のためにも有能な若者たちが議員をめざす下地を作るのは、今の我々現役議員の責務ではないのか。

下水道施設統廃合計画策定

汚水処理施設の余剰能力を活用した処理区の統廃合を行い、処理の効率化及び維持管理費の低減を図るものです。

※関係区とは慎重に協議をしながら進めて行くこととします。

公立神崎総合病院改革プラン策定

へき地医療・不採算医療や高度・先進医療等を提供する持続可能な病院経営をめざすために策定するものです。

第2期健康増進計画・食育推進計画策定

健康増進法・食育基本法・自殺対策基本法に基づき、母子保健計画も含んだものです。

神河町下水道施設統廃合計画

統合前

①大山処理区	・吉富区・杉区・大山區・猪篠区
②根宇野・山田処理区	・根宇野区・山田区
③神崎第一処理区	・中村区 ※中村区の一部を大山に ・栗賀区 ※栗賀区・中村区の残りは福本へ
④福本処理区	・福本区
⑤栗賀南部処理区	・貝野区・しんこうタウン区・寺野区 ・柏尾区・加納区・東柏尾区

統合後

①大山浄化センターに統合 H34 神崎第一処理場廃止予定 H37 神崎コンプラ廃止予定
②栗賀南部浄化センター・ ③福本処理場に統合 旧神崎処理区については、福本処理場を経由して栗賀南部浄化センターへ送水
④大河内浄化センターに統合 H30 南小田処理場廃止予定 H31 上小田処理場廃止予定
⑤本村処理場に統合 H37 大川原処理場廃止予定
⑥川上処理場
⑦栗処理場

⑥大河内処理区	・新野区・野村区・比延区・寺前区 ・鍛冶区・大河区・上岩区 ・高朝田区・宮野区
⑦南小田処理区	・南小田区
⑧上小田処理区	・上小田区
⑨本村処理区	・本村区
⑩大川原処理区	・大川原区
⑪川上処理区	・川上区
⑫栗処理区	・栗区

第76回臨時会

一般会計補正予算6号

1月27日開催

ふるさとづくり応援寄付金の増による補正で、歳入歳出それぞれ2406万7千円を増額するものです。
(全会一致で可決)

懲戒処分関連

12月定例会で峰山高原スキー場に関する答弁に虚偽があり、その管理責任を理由とした減給の条例改正です。

特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正

町長は2月から2ヶ月間の給料を1割減額し、副町長は2月の給料を1割減額するものです。
(全会一致で可決)

教育長の給与等に関する条例の一部改正

教育長の2月の給料を1割減額するものです。
(賛成5 反対5 否決)
※可否同数となったため、議長採決により、否決。

議案等の審議結果

第77回定例会

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆

議案番号	件名
第4号	神河町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例制定の件
第6号	神河町商工業振興基本条例制定の件
第7号	神河町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定の件
第8号	神河町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び神河町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第10号	神河町特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第11号	神河町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第12号	神河町税条例等の一部を改正する条例制定の件
第13号	神河町手数料条例の一部を改正する条例制定の件
第14号	神河町福祉医療費助成条例等の一部を改正する条例制定
第15号	神河町介護保険条例の一部を改正する条例制定の件
第16号	神河町し尿くみ取り手数料の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第17号	神河町営住宅設置条例等の一部を改正する条例制定の件
第18号	神河町消防団条例の一部を改正する条例制定の件
第19号	神崎郡介護認定審査会規約の一部変更の件
第20号	神河町峰山高原スキー場造成工事請負契約締結事項の変更の件
第22号	平成28年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
第23号	平成28年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
第24号	平成28年度神河町土地開発事業特別会計補正予算(第2号)
第25号	平成28年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計補正予算(第2号)
第26号	平成28年度神河町寺前地区振興基金特別会計補正予算(第2号)
第27号	平成28年度神河町水道事業会計補正予算(第4号)
第28号	平成28年度神河町下水道事業会計補正予算(第4号)
第30号	平成29年度神河町介護療養支援事業特別会計予算
第31号	平成29年度神河町国民健康保険事業特別会計予算
第32号	平成29年度神河町後期高齢者医療事業特別会計予算
第33号	平成29年度神河町介護保険事業特別会計予算
第34号	平成29年度神河町土地開発事業特別会計予算
第35号	平成29年度神河町訪問看護事業特別会計予算
第36号	平成29年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計予算
第37号	平成29年度神河町寺前地区振興基金特別会計予算
第38号	平成29年度神河町長谷地区振興基金特別会計予算
第39号	平成29年度神河町水道事業会計予算
第40号	平成29年度神河町下水道事業会計予算
第41号	平成29年度公立神崎総合病院事業会計予算
第42号	神河町デジタル防災行政無線システム(同報系)整備工事請負契約締結事項の変更の件
承認第3号	神河町第2期健康増進計画・食育推進計画の策定の件

◆賛否の分かれた議案等◆

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
					藤原裕	藤原白	山下	宮永	藤原資	藤森	小寺	松山	三谷	小林	廣納	安部
第9号	神河町議会議員の議員報酬、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件	8	3	可決	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	—
第21号	平成28年度神河町一般会計補正予算(第7号)	10	1	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
第29号	平成29年度神河町一般会計予算	9	2	可決	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	—
承認第1号	神河町下水道施設統廃合計画の策定の件	10	1	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第2号	公立神崎総合病院改革プランの策定の件	10	1	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—

発議番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
					藤原裕	藤原白	山下	宮永	藤原資	藤森	小寺	松山	三谷	小林	廣納	安部
発議第1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	9	2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—

○は賛成、×は反対です。12番、議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

第76回臨時会

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆

議案番号	件名
第1号	神河町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件神河町商工業振興基本条例制定の件
第3号	平成28年度神河町一般会計補正予算(第6号)

◆賛否の分かれた議案等◆ 可否同数

発議番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
					藤原裕	藤原白	山下	宮永	藤原資	藤森	小寺	松山	三谷	小林	廣納	安部
第2号	旧神河町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定の件	5	5	否決	○	欠	○	○	×	×	×	×	×	○	○	—

可否同数となったため、議長採決により否決されました。

委員会の活動

総務文教

総務文教

2月10日に事務執行状況調査を行いました。
また、3月22日に給食センターを視察し、衛生・安全面の調査を行いました。

教育課

長谷幼稚園・小学校の統廃合は、PTAの総会で一定の方向性が出され、今後、地域と調整を進めていく。

Q 幼保一体の検討状況はどうか。

A 神河町は、保育所は私立、幼稚園は公立のため、職員の配置等を含め課題がある。就学前の保育・教育について、良い方向を考えていく。

情報センター

公設民営の方針のもと、プロポーザル方式で業者選定を進め、1月10日に内部審査を終え、契約候補者を決定した。

内容は、神崎エリア光ファイバー敷設と、全町光ファイバー化に伴う放送系機器更新に係るもので、3社から提案を受けて、契約候補者として富士通ネットワークソリューションズ(株)を選定した。

Q 3社の提案内容を資料としてなぜ提出しないのか。

A 4月には入札し、議会承認とあるが、多額な金額が必要な大事業である。審査の経緯など詳しい説明が必要だ。
現在、検討委員会での決定事項というところで、本日提出していない。次の機会に資料に基づき説明したい。

総務課

- ① 内部統制システム(危機管理マニュアル)について
- ② 神河町行財政改革実施状況について説明を受けた。

Q カーボンマネージメント事業で、本庁舎、中央公民館のほかに、リラクシア、ヨーデルの森、神崎フードとあるが、いつ変更になったのか。

A CO₂削減効果が高いということと、5施設を申請した。29年度より3年間で事業を実施する。

Q リラクシア、ヨーデルの森は、最近、空調設備を更新しているが。

A リラクシアは、空調部分の設備をシステムごと新しい省エネタイプのものになります。ヨーデルの森は、26年度あたりから棟ごとに実施している。29年度が最後になる。

ひと・まち・みらい課

- ① シングルマザー移住支援事業について
- ② アグリイノベーション事業について
- ③ 地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)の3つについて事業等の説明を受けた。

Q シングルマザー移住支援事業の移住体験は、町のPRのためには町の中心部がよいのでは。

A 今回は適当な空家がなく、畑もあるというところで、クラインガルテンを利用した。来られた方には町を十分案内し、移住につながるように努めた。

Q PFI事業計画に資料館・歴史館がある。道の駅の計画にも資料館的なものがあるが、どう調整しているのか。

A PFI事業の資料館は、銀の馬車道交流会が管理している民具類。

道の駅にはマカダム式馬車道のレプリカのようなものを整備すると聞いている。
いずれも、今後調整していくことになる。



マカダム式舗装複製品

会計課

現金等管理状況、出納管理状況は、適切に管理されている。

税務課

Q 国民健康保険税の収納状況が悪いが状況は。

A 中間層の負担が重くなっている。分納方法も取り入れているが、新たな取組も行いたい。

民生福祉

2月8日開催

公立神崎総合病院

新病院長に宮原副院長

4月から宮原新院長の就任に伴い、打村院長は名誉院長として引き続き整形外科の診療をしていただく予定。

Q 産婦人科の岩崎副院長が29年度末で定年されるが。

A 定年後も平日の半日勤務で、妊婦健診、婦人科の診察と手術は継続していく予定。分娩は聖マリア病院等と連携していく。

Q 改革プランに「経営の効率化」とあるが、具体的には。

A 報酬単価加算のため、の施設基準を満たすことで収益アップを図り、宍粟病院との連携で（薬品の共同購入等）支出削減に努めていく。

Q 4月から透析患者の送迎が始まるとのことだが、経営の効率化との兼ね合いは。

A 透析患者会からの強い要望が出ていた。送迎付き病院への転院の引き止め効果にもなる。

健康福祉課

ミニデイの町外見学が可能

Q ミニデイのマイクروبাস利用範囲の拡大は。

A 担当課職員の添乗を条件に郡内と隣接市町まで可能にする。

Q 緊急通報システムの通報先が消防署から大阪ガスに変わるが、近隣協力者は。

A 従来どおり、協力者の登録は必要。民生委員を通じて届出を。

Q 4月から、要支援1・2の方の通所・訪問介護はどう変わるのか。

A 当町は、今のところサービス環境も利用料も現行どおり。

住民生活課

ごみ処理計画検討に福崎町も参画

12月6日付で、福崎町より「次期ごみ処理計画検討委員会」に参画したいとの申し出であり。当委員会として「検討委員会への参画については異議なし」とした。

Q 中播北部事務組合（クリーンセンター）の協議により、負担金は持込ごみを含めた投入量割に。

Q コンポスト半額助成の計画があるが、生ごみの減量化は市川町も足並み揃えて取組むべきでは。

A ごみ処理検討委員会（2町で月一回開催）で要請していく。



団地に隣接する広場（既存施設）



木製コンポスト



釣鐘コンポスト

Q 新野駅前団地の住民から公園設置の要望が出ていたのでは。

A 遊具設置補助要綱を利用して、野村区の既存施設を充実させることで協議済み。

産業建設

2月6日開催

建設課

交通規制の周知を

Q 町民マラソン大会の際に水走り中河原線の交通規制の周知はできていたのか。

A 対応できていなかった。御迷惑をおかけし申し訳なかった。

未発注はなぜ

Q 橋梁長寿命化工事を発注しなかったのはなぜか。業者にとつて残念な結果であると思う。

A 吉富区内の久後橋を予定していたが出穂期と重なり繰越となった。

除雪対応に大喝

Q 天気予報の大雪情報にも関わらず対応が悪すぎる。

A 委託に出しているが除雪車の故障や経験のない大雪のため対応が遅れた。

Q 委託業者任せで現地での指示や努力が足りない。

A 管理職を中心に現場へ行った。幹線を主に対応したため支線の除雪が遅れた。

Q 建設業協会と連携しマニュアルを作るべきでは。

A 災害協定は結んでいないが、除雪についても十分検討しマニュアル化していく。

上下水道課

下水道の統廃合計画

Q 上流部は管が細いがつなぎ込みは管径も考慮してあるのか。

A 一部入れ替えもあるが流量計算している。

Q 廃止となる施設はどのくらいあるのか。

A 地下部分は一時的な貯留槽として利用し、上部建物は防災施設に考えている。

Q ヨーデルの森との統合はどうするのか。

A 議会でも十分審議しての判断となるが地元にも十分了解を得なければと思っています。

上水道の統廃合計画

Q 経費削減になるのか。

A 削減にはならないが、国の方針に沿っての計画で、今後の補助金の動向を見越してのことである。

地籍課

事業は計画どおり順調に進捗している。

地域振興課

《地域振興係》

若者世帯向け住宅補助の拡充

Q 町内製材業者を利用すれば補助金40万円の加算があるが、木材は産地指定するのか。

A 乾燥が必要なので難しい点があるが、町産材を最優先し、最悪でも県産材を使用していく。

企業誘致は

Q 受入体制が進んでいないが。

A 相談はいろいろとあるが、進入路等の課題がある。

《商工観光係》

指定管理者の移行

Q 指定管理者が替わる施設の移行は順調に進んでいるのか。

A 現在、用品とか在庫の買取の調整をしている段階である。

リーディングプロジェクト

Q 県から500万円の補助があるが赤字になれば町が補てんするのか。

A 補助金の枠内で収める。町の持ち出しはない。

カーミンブランド

Q カーミンブランドの戦略とは。

A 中学校の「夢をかなえる事業」での提案がきっかけで作家に依頼し絵本ができる。

まずは町内の子どもたちにも読んでもらおうと思っている。

《農林業係》

大雪の被害

Q 被害状況と保険加入は。

A 6戸でビニールハウス22棟の被害。うち保険加入は4戸。

獣害対策

Q シカ柵の更新対応は。

A 補助事業の更新はできない。多面的機能支払交付金事業での対応を指導している。

大黒茶屋が道の駅に

Q オープンしてからの管理はどがするの

A かの。当分の間は町が主体となつて協議会を立ち上げるが、地域の方にも運営に関わっていただきたいと考えている。

Q 県と町の部分があり設置条例は必要ではないか。

A 条例は検討する。



道の駅「銀の馬車道 神河」イメージ

公立神崎総合病院 北館改築事業調査 特別委員会

2月14日開催

6月中旬入札し
業者決定予定

地域包括ケア病棟移転に

北館改築に伴い、南館3階の地域包括ケア病棟を中館3階中病棟に移転する計画である。

改修内容は

東側にデイルーム。洗面室・トイレの全面改修、ユニットバスをサイズアップ、スロープを設置し、段差をなくする。西側はICUを1床室と相談室、各所にトイレ新設、4床室36床、1床室14床の計50床で計画。

改修費は

建築改修費は2500万円、北館改築の事業費の中で行う。

主なQ&A

Q 資材置場・現場事務所のあるのか。
A 資材置場は北側駐車場、現場事務所はケアステーションの駐車場を予定。

Q 職員、現場作業員の駐車場はどうするか。
A 旧栗賀小学校の跡地を予定している。

Q 北側の出入口は安全か。
A ケアステーションや訪問看護ステーションの事務所がある。毎日多く利用者があって、仮設の出入口を予定している。バリケードやガードマンを配置し安全に努める。

Q 狭い所での工事になる。騒音等安全面は十分対応できるのか。

A 患者様や地域住民の方に迷惑を掛けると思うが、業者と十分協議し周知していく。
栗賀町区長・近隣宅へ改築にかかる基本設計の内容説明を行い、理解を求めている。

耐震診断

診断結果が耐震性能を示す指標のI s値が0.6未満であれば国庫交付金事業の対象になる。

検査内容は

中央部・東西部の表面のひび割れや漏水跡などの劣化、コンクリート強度や中性化、深さ測定を行う。

診断結果は

I s値が0.60未満と診断され、耐震交付金(約5700万円)の対象となった。

峰山高原スキー場 整備事業調査 特別委員会

2月14日開催

調整池工事

進捗率は1月末で35%。工事費は、堤体の土は、山側の粘土質土を利用するので減り、導流水路と導流管渠工事の施工年度を振り替えるので増え、4159万9440円となる。

造成工事

1月の豪雪により工期を7月30日まで延長する。進捗率は1月末で30%。立木伐採の終了面積は3万8000㎡、伐採木は、高朝田の小径木加工場に仮置きし、住民の方を持つて帰ってもらう。その時期はチラシ等で周知する。残った伐採木は、チップ材にする。豪雪と保安林解除認可が4月中旬になるので、工期を8月31日まで延長する。

人工降雪機整備工事

進捗率は1月末で23%。第2リフトは新設の許可申請書を提出している。設備製作に期間を要するので、工期を11月30日まで延長する。

交通対策

町道際の立木伐採により、雪解けが早くなり効果は大きい。また、視界が開けて運転がしやすいため、引き続き伐採をしていく。スキー場への送迎用バスの駐車場は、鍛冶地内の採石置場跡地で検討している。

地方創生拠点整備 交付金事業

センターハウス建設費の財源となる地方創生拠点整備事業は、事業費の2分の1の1億5051万5千円の交付金を受けられる。残りは、一般補助施設整備事業債が借りられ、償還金の50%が交付税算入される。スキー場の事業費約10

億7000万円の内、一般財源は償還金利子も含め2億3372万円余りになる。

スキー場PR事業費2900万円の2分の1の交付金が受けられ、残り指定管理者が負担をする。

主なQ&A

Q 12月16日オープンに向けどう取り組むのか。

A 4月早々に調整池工事、設備工事、センターハウス建設を発注していききたい。

オープンに向けた体制も充実させていく。

Q マイナス5度になれば、3日ほどでAコースのゲレンデができるか。

A マイナス5度が3日ほど続けば大量の雪が作れ、滑走可能なゲレンデに仕上がる。

Q 案内看板や交通安全標識が必要との指摘があったが。

A 看板として一番欲しいのは情報板。リアルタイムで、道路情報や積雪情報を電光掲示板で周知したい。

Q センターハウスのトイレは、広くとってもらいたい。

A 通常より少し大きく造っている。多目的トイレは、補助者が一緒に車椅子で入れる。

Q おむつ交換の場が必要と思うが。

A 多目的トイレには、簡易ベビーベッドを設置する。

Q キッズルームには、授乳場所が必要と思うが。

A 小さい子どもが休憩、遊べる部屋を計画しているので考えたい。

Q センターハウスの階段の踏み面の幅が狭いのではないか。

A 小学生でも安全な寸法である。スキー靴を履いていても大丈夫である。

Q チェーン着脱場、トイレの県との協議状況は。

A 上小田のチェーン着脱場は、花壇を撤去してバスが入れるようにする。

トイレは占用申請を出せば、設置可能という確認はしている。

県道改良は、ガードレール等の傷みの激しいところは、ガードパイプに替えるなど予算内でやっていく。

Q 県道の立木は県に対応してもらう必要がある。

A 支障のある枝や木は県土木が伐採することで協議は整っている。

Q 送迎バス利用者の駐車場は、他の所も検討はされたか。

A 高朝田の町有地、役場の駐車場も検討したが課題がある。鍛冶の採石場跡地は、工事をしなくてもよい。ルート的にもスムーズに行ける。

Q 駐車場は、寺前駅前活性化の絡みでの議論はされたか。

A 当然考えた。観光交流センターの前付近が一番良いが飽和状態である。

Q スキー場のメリットとして、地域の活性化に結び付く取組をしてみたい。

A 情報提供をして、一つずつやっていきたい。

Q 大雪を経験して除雪の機械や除雪方法を考えなければならぬと思うが。

A 今年は大雪でいろいろな課題が明らかになった。

何百台の駐車場を確保するには除雪車両が2台要ることが分かった。特殊な除雪車両は、1台何千万という経費が必要となる。



白銀の峰山高原

みなさんの **声** を

町政に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員が自ら原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は3人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
15	小林 和男 議員	①人型ロボットを活用した日本一の学校づくりについて ②PFI事業導入による粟賀小学校跡地利用について ③銀の馬車道の観光資源としての活用策について ④林業振興のかなめとなる林道網の整備と広葉樹林帯育成について
16	三谷 克巳 議員	観光交流人口100万人施策がめざしているものは何か
17	松山 陽子 議員	①豊かな自然を活用した子ども達の体験の場づくりについて ②ケーブルテレビ電話の廃止に伴う、福祉的電話の対応について

議会の本会議は傍聴することができます。希望される方は、本会議当日に議場入り口の傍聴人受付簿に住所、氏名等を記入してください。なお、定員は先着順に30名までです。傍聴者が20名以上となる場合傍聴席の準備が必要となりますので、団体での傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡ください。

本会議場での傍聴をお待ちしています。

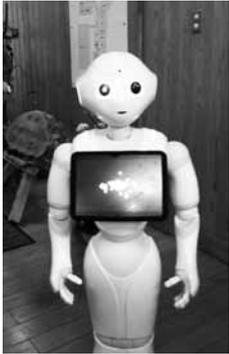
Q 人型ロボット「ペッパー」を生かし 教育レベル日本一の学校に



小林 和男 議員

町長

「日本一の学校づくり」の目玉の一つとし、積極的に推進していきたい



Q ソフトバンクから神河町の小中学校に、人型ロボット「ペッパー」が3年間無償貸与される。先進的な教材の提供を受けられたのは兵庫内では神河町だけであり、この、絶好のチャンスを生かして神河町の学校を日本一の教育レベルに定着できないか。

A 山名町長 「WEBの世界に明るい未来を見いだす子どもをめざして」の中で人型ロボットの導入を計画していた。今回、全小・中学校に導入いただくことになり、新学習指導要領に組み込まれる予定のプログラミング教育に向けた先行的・先進的な取組として位置付けるとともに、「日本一の学校づくり」の中の目玉の一つとし積極的に推進していきたい。

また、神河町の児童・生徒の想像力や思考力、問題解決力が高まることで教育レベルがさらに向上するように取り組んでいきたい。

Q 栗賀小学校跡地利用の町づくりにPFII事業計画の進展はどのようなのか。

A 山名町長 平成29年度のPFII事業可能性調査に挙げていく施設として、①研修ができる教室の整備。これは公共施設等総合管理計画で重複施設である神崎公民館機能の廃止をうたっておりますが、中央公民館だけでは利用をまかなえないことからその代替機能を持たせるものである。②新たな公共施設として、地元要望が強い図書館機能を整備すること。③銀の馬車道界隈の福本・栗賀町・中村・吉富、さらには杉、大山、猪篠に至るまちづくり、賑わいづくりを想定して、資料館・歴史館的なものの整備。

併せて収益性の高い施設を整備すること、国道と景観形成地区・銀の馬車道をつなぐアクセス道路の整備や公共トイレや駐車場、公園などを整備することの可能性調査に取り組みたい。

(PFII事業とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、運営能力、技術的能力を活用して行う新しい手法)

Q 銀の馬車道が国の日本遺産に認定されたら、町の観光資源としてのどのように活かされるか。

A 山名町長 神河町には数多くの観光資源があり、「越知川名水街道エリア」「銀の馬車道エリア」「大河内高原エリア」の3つのエリアのそれぞれの特徴を生かした観光PRを行っているが、それらを結んで町にお越しいただいた皆様にお銀馬車界隈のみならず、町内を周遊し、ゆっくりに楽しんでいただくとともに、地域での消費を喚

起し経済の町内循環につながるようにしたい。

具体的には、銀の馬車道交流館や栗賀の驛、地域のシンボリックな古民家等の活用など現在地域にある物的財産を活用し、土産物の販売や仙霊茶の提供などに加えボランティアガイドをはじめとする地域の皆様にも御協力を頂きながらおもてなしをしてまいります。また、銀の馬車道の物語を活かしながら町並みを守っていくための修景事業などにも着手していく。

ひとこと

町長の答弁が長かったため、質問が途中になり残念。

Q 観光人口100万人がめざすものは



三谷 克巳 議員

町長 お金の循環、「交流から定住」

Q 29年度主要施策に観光交流人口100万人に向け、全ての世代に楽しんでもらえる観光地をめざすとある。この施策で、最終的にめざしているもの(目的)は何なのか。その目的達成にどのような事業、取組を考え、どう展開されるか。

A 山名町長 地域経済の活性化、つまりお金の循環、そして「交流から定住」も含んでいる。これまで多くの皆さんや団体の協力を得て観光キャンペーン、イベント、歴史遺産の活用を行ってきた。

播但線沿線市町との広域連携、外国エージェンツへの働きかけ、新しい商品開発、職員体制・観光協会組織の補強、情報発信ツールを備えて情報発信力を向上させ、情報価値の最大限活用に取り組んでいく。

Q 半日滞在、日帰り、宿泊という観光客の滞在時間により経済効果

A 山名町長 三つの観光エリアに来てもらう仕組みを作らなければならぬ。公共交通で訪れやすい仕組みも作らなければならぬ。

Q 水車を例にとれば、新野の灌漑用水車、こつとん亭の米搗き用の動力水車、発電用水車がある。これらを観光ルート化すれば滞在時間が増えると思う。イベント以外の工夫も必要ではないか。

A 山名町長 地域資源を活用することは、地域創生の重要な要素である。イベントは、知名度を上げ、リピータを作ることができる。灌漑用水車



灌漑用水車

Q 県は、神戸の食↓姫路の城↓城崎の湯へ外国人観光客向けの周遊コースを計画している。姫路城と神河町の宿泊施設との連携の話はどうなったか。

A 山下観光振興特命参事 姫路市を中心としたプロジェクトチームを作り、情報交換、連携行事を行っている。

Q 飲食店、土産店等の3次産業の経済効果は予測できるが、1次・2次産業への波及効果策はどう考えるか。

A 神河産コシヒカリはとてもおいしい。価格調整が必要と思うが、このコシヒカリを町内飲食店で提供できないか。

A 山下観光振興特命参事 町内産を使用している店もある。納入価格の調整が必要である。

Q 供給と需要の調整役が必要である。役場が関わっていく考えはあるか。

A 山名町長 徳島県神山町では、契約栽培をして食材確保をしている。見習う点である。

A 山下観光振興特命参事 大切なことではあるが難しい部分である。

Q 体験型観光が重視されてきているが、これの取組状況は。

A 山下観光振興特命参事 手探りの状況である。研究して、できる部分から取り組んでいきたい。

ひとこと

東国原知事の「どげんかせんといかん」を思い出します。



子ども達にもっと自然体験の場を



松山 陽子 議員

町長

昔のような自己完結型の遊びが理想とは思いますが

Q 「ふるさとを愛し心豊かな子どもを育てる」には、今以上に自然の中での体験の機会を増やすべきと考えるが。

A 山名町長 学校の統合により、学校と地域との距離が遠くなり、自然体験や交流活動ができにくくなったことは事実である。そのような中でも、学校教育や社会教育（土曜チャレンジ学習）で積極的に取組んでいる。

今後も地域との連携や家庭教育の充実をめざした取組みをより一層進める中で、ふるさとを守るうという意識の醸成、さらには、神河町に住み続けたい気持ちに進展していくよう、しっかりと取組んでいきたい。

Q 幼児期の子どもと保護者に、自由に遊べる山や田畑等の場所の提供や協力者の情報提供は可能か。

A 松田教育課長 「子育て学習センター」等で自然とふれあう事業

も行っているが、地域の活動場所での実施も考えていきたい。しかしそれだけでは不十分であり、家庭や近隣、地域の中で取組めることが望ましい。

Q 外で遊ぶことで五感が磨かれ、健康や精神面から大切である。移住してこられた若い

家族の多くも自然の中での子育てにあこがれておられると感じる。それに応える町づくりも大切と思うが。

A 松田教育課長 多可町の「森のようちえん」と同じような取組みは今の体制の中では難しい。まずは情報収集していききたい。

A 谷口町参事 峰山にある旧保養所で教師のOBの方が「森のわんぱく冒険塾」を開いておられ、支援して行きたいと考えている。



森のわんぱく冒険塾活動の様子 (HPより)

CATV電話廃止後の福祉的電話の対応は

町長

生活困世帯には電話器を

る計画である。振り込め詐欺や悪質商法からの防犯・保護対策は、戸別受信機による行政放送（緊急時は外部スピーカーも可）で注意を呼びかける。

Q ケーブルテレビ電話は通話料が無料であり、また、町内だけの通話で安心であった。「IP電話」にすれば無料になるとの情報もあるが。

A 藤原情報センター長 「IP電話」はインターネットに接続する環境が必要で、月額5千円程の費用も必要となる。町外からもかつて来るので、迷惑電話は防げない。

ひとこと

半世紀前の生活を思い出し実践できると、心も身体も健康になるのではと…。そして助け合う生活も。

主な議会日程

4月
 24日(月) 議会運営委員会
 27日(木) 第78回臨時会

5月
 15日(月) 産業建設常任委員会
 17日(水) 人権文化推進特別委員会
 22日(月) 公立神崎総合病院北館改築
 事業調査特別委員会
 峰山高原スキー場整備
 事業調査特別委員会
 総務文教常任委員会
 民生福祉常任委員会

6月

13日(火) 議会運営委員会
 16日(金) 第79回定例会
 19日(月) 総務文教常任委員会
 22日(木)～23日(金) 定例会 一般質問
 28日(水) 定例会最終日 採決

※この日程は変更となる場合があります。

いっぱん質問

ケーブルテレビ放映について



下記のとおり再放送が行われます。ぜひご覧ください。

《5月9日(火)》

- ① 小林 和男 議員 午後7時00分～
- ② 三谷 克巳 議員 午後8時00分～

《5月10日(水)》

- ① 松山 陽子 議員 午後7時00分～

あ と が き

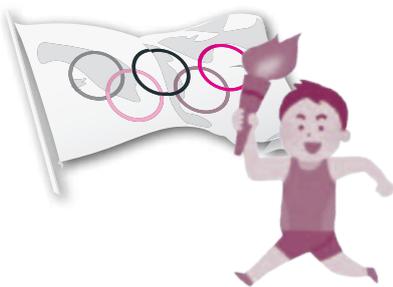
新緑の中、新たな挑戦・ドラマが始まっている。消防団、子ども会、部活動、スポーツ少年団と練習に汗が光る。年々掲げられる横断幕に頑張りを感ずる。

『2020年東京オリンピックに期待しているぞ』との声に『エーツ：頑張るワツ』との返事する目は輝いている。グイ顔だ。私は必ず叶えてくれると信じている。

今は今しかない。今を精一杯やれと心にエールを送った。子ども達、若者たちの笑顔は元氣と夢を与えてくれる。いろいろな取組が地域創生でされているが、スポーツを生かしての地域創生をと思う。

議会も応援している。頑張れアスリートたち。

(M・F)



広報公聴活動調査
 特別委員会
 委員長 藤原 資広
 副委員長 三谷 克巳
 委員 山下 皓司
 委員 藤森 正晴
 委員 小寺 俊輔
 委員 松山 陽子

